

年間事業報告書

第 47 期

(自) 令和 6 年 4 月 1 日

(至) 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人 秀幸福社会
庄栄エルダーセンター

大阪府茨木市庄二丁目 7-38

令和 6 年度 特別養護老人ホーム・ショートステイ事業報告

○R6 年度実績報告

<特別養護老人ホーム>

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度計
目標人数 (名)	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,568	1,736	20,440
利用人数 (名)	1,552	1,682	1,629	1,678	1,668	1,635	1,584	1,556	1,471	1,603	1,458	1,607	19,123
空き日数 (日)	128	54	51	58	68	45	152	124	265	133	110	129	1317
前年比 (%)	97.9	100.8	101.6	103.1	101.5	104.9	96.4	94.5	90.5	97.6	90.7	103.4	98.5
目標比 (%)	92.4	97.1	96.5	96.6	96.7	94.6	90.2	92.4	84.4	92.8	94.8	92.6	93.5
一日利用平均人数	51.7	54.3	54.0	54.0	54.1	53	50.5	51.1	47.2	51.9	53.0	51.8	52.4

利用人数 定員 56 名中 一日平均 52.4 名

R6 年度間退所者数 ー 21 名 前年度比較 6 名増

<ショートステイ>

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
目標人数 (名)	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,320
利用人数 (名)	572	555	570	644	702	583	520	546	610	594	514	618	7,028
前年比 (%)	96.8	97.4	114.9	122.7	111.6	103.9	80.9	94.5	111.1	100.3	92.8	125.4	103.7
目標比 (%)	98.6	89.5	98.3	103.9	113.9	97.2	83.9	91.0	98.4	95.8	91.8	99.7	96.8
一日利用平均人数	19.0	17.9	19.0	20.7	22.6	19.4	16.7	18.2	19.6	19.1	18.3	19.9	19.2

利用人数 定員 20 名中前年度 18.5 名 R6 年度 19.2 名

R6 年度間新規利用者数 ー 113 名 前年度比較 2 名減

○R6 年度特別養護老人ホーム・ショートステイ共通報告

中長期計画「職員の育成」に基づき、運営

・介護職員の年度間 入退職状況

入職者 (常勤職員) …… 5 名 (うち 2 名が夜勤可能)

(非常勤職員) … 3 名

(派遣社員) …… 0 名

計 8 名

退職者 (常勤職員) … 2 名 (うち 1 名が夜勤可能)

(非常勤職員) … 2 名

(派遣社員) … 2 名

計 6 名

R5 年度は入職 22 名、退職 19 名と入れ替わりが激しかったが令和 6 年度は落ち着いた 1 年であった。夜勤可能な職員がなかなか増えず、令和 6 年度も相談職が介護業務に就いている。

派遣スタッフは現在 2 名のみ。

- ・人材育成について

内部研修 … 事業計画通りの内容で毎月学習会を実施。受講必須とし、各自レポートを提出。
新人については継続的な OJT とフィードバックを行った。

外部研修 … 前年度からの課題であった喀痰吸引は、4 名のスタッフが受講し、4 名とも資格を取得できた。またリスクマネジメントの研修にも参加できた。積極的に参加出来る様に全体でのサポートを行った。

- ・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザについて

今年度はコロナやインフルエンザの感染はあったものの、感染拡大はすることなく最短で収束した。
今後も引き続き感染対策を万全に行うことで、発生や感染拡大を防いでいく。

- ・ショートステイフロアの撤廃

今までは、4 階をショートステイフロアとして運営していたが、11 月より各階にショートステイの方に入所していただくようになった。各フロアの特色や環境があるので、今まで以上に柔軟な対応が可能となった。

○R6 年度特別養護老人ホーム事業報告

- ・利用者平均要介護度 4.2 (男性 4.2 女性 4.1) 前年度と変わらず

- ・空床減への対応

今期は入院され、1.2 日後に退所されたケースが 2 件あり、すぐに対応できず次の入所まで空床期間が長くなることがあった。

今後は、入所申し込み書類から利用者をピックアップする職員を一人選任し、ベッドコントロールを行う。入院された時点で入所判定会議に挙がっている中から、次の入所予定の方をピックアップしておき、すぐに入所手続きが可能な状況を作っておく。また早期に次の利用者に入所していただくよう、その前提でロングステイ利用者を獲得する。現在ロングステイ 5 名 (R7 年 5 月 17 日時点)

- ・医療、介護の質の向上について

第 2、3 四半期では誤嚥性肺炎による入院が多かったが、食事時のポジショニングや嚥下観察、介助ペースの見直しにより誤嚥性肺炎による入院者数が抑制された。

- ・コスト削減の工夫

定期的に行われるフロアミーティングで、排泄時のパッド使用の見直しを行い、適正使用による消耗品の削減を行った。

○R6 年度ショートステイ事業報告

- ・利用者平均要介護度 2.9 (男性 2.5 女性 3.1) 前年度比較 -0.3

- ・ショートステイ利用の振り分け

共通報告でも記載したように、ショートステイ利用フロアを各階に分散する柔軟な対応で、稼働率向上に努める。

- ・緊急ショート受け入れについて

R6 年度も緊急ショートの依頼あり。急な家族の入院や、独居高齢者の保護対応などがあり、それに対して皆で協力し、前向きに受け入れ、前年よりショート利用人数は 248 名増の利用であった。

- ・各事業所に営業をかけ空き状況を伝える

週に1度、事業所にファックスを送付することで、空き状況を知ってもらい利用に繋げた。分かりやすいレイアウトと、即時性を重視し利用促進を図った。実施してからすぐに利用に繋がったケースがあった。引き続き行っていく。

- ・InstagramなどSNSの活用

引き続きショートステイの稼働率向上や地域、ケアマネジャー、家族様への情報発信力強化を目的として季節行事や普段のレクリエーションの様子など、施設の日常風景や利用するメリットを視覚的に伝える投稿を行う。

R6 年度 診療室事業報告

R6 年度は介護保険改定、診療報酬改定があった。口腔機能向上での歯科との連携、感染症に対応できる医療機関との連携、また、医療 DX 化の促進、紙保険証廃止にむけ、診療室での対応が必要となった。レセコン、マイナンバー保険証カードリーダーの導入、情報共有のためのサマリーの作成といった取り組みを行った。また、9 月には特養運営指導もあり、運営内容の確認を行った。

<利用者動向>

R6 年度は特養入所 24 名、退所 28 名であった。退所者の内訳としては入院してから短期間での死亡退所が多くみられた。また、入院者の内訳については持病やコロナ後の心機能・呼吸機能の悪化、嚥下機能低下などであった。また、ショートステイの方についても、酸素、インスリン、バルン管理、ストーマ管理など医療管理の必要な方が増加してきている。

<健康管理>

職員健康診断を 7 月、特養入所者の X-P 撮影を 11 月に実施した。

<感染症について>

今年度のコロナ発生について、4 月、8 月にあったが、迅速に感染対策を取り、早期に終息できた。また、拡大の予防対策として実施していたショートステイ入所時抗原検査は 12 月で終了した。その後拡大はなく、引き続き傾向を把握しながら、対策をとっていきたい。

他感染症については、9 月下旬に疥癬がクラスターで発生。利用者、職員ともに発生がみられたが、皮膚科医・施設医の協力にて、6 年前の発生時よりも早く終息することができた。12 月には、呼吸器感染症が 1 フロアで流行し、感染性胃腸炎など職員や家族にみられることもあった。感染症マニュアルの見直しや研修、BCP 研修や訓練の参加促しを行い、各感染症に有効な対策を行っていきたい。

<人材確保>

R6 年度は 3 月 4 月の退職者が特に多かったが、R5・R6 年度入職の常勤看護師 3 名が継続して勤務しており、仕事内容も幅を広がってきている。また、子育て中の看護師も多くなってきており、特に急な休みが入る場合もあるため、入所・デイ間で支障なく対応できるよう、体制を整備中である。

また、10 月に機能訓練士が退職しリハビリを休止していたが、R7 年 4 月末より、作業療法士が特養に異動、訓練を再開できることとなった。

子育て世代だけでなく、各世代それぞれのワークライフバランスが保てるような職場環境を今後も考えていきたい。

○ R6年度利用者動向

[illegible]

入院 入所

他科 受診	内科	2	6	6	10	3	14	6	8	10	7	86
	整形	3	2	3	4	2	4	1	4	0	7	38
	外科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	皮膚科	3	2	2	1	1	10	2	2	2	3	36
	腫外	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	5
	眼科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	9
	神経科	7	4	8	3	2	2	2	5	2	4	45
	泌尿器	4	0	4	3	3	3	5	1	3	4	35
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救急外来	3	6	4	0	1	6	3	6	1	5	47
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	8
	合計	22	22	27	23	14	40	21	27	29	32	310
	ショート	7	5	8	8	9	4	6	9	11	8	82
	入院日数	116	103	59	62	63	45	137	109	274	56	1262

7

R6年度年間業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者	採血 心疾患者 ECG (毎月)					結核検診 胸部レントゲン 9/12 52名	インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種 コロナ ワクチン接種			↑ ↑
職員				職員検診 (X-P (B) ECG 検尿ニルダ-127名 問診 検診 保育 44名 検便 採血) 7/16. 18			インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種 エルダ- 名 保育 名 コロナ ワクチン接種	夜勤従事者 検診 (検尿 問診 診察) 1/31		
診療所	管理栄養士検便 ヘルパー検便 第2木曜 ミーティング 学習会・研修会 (定期・随時) 医療物品管理											↑ ↑ ↑ ↑
備考	腰痛体操 浴槽消毒4回/月 風呂水塩素 脱衣室温度 チェック 3回/日		医療廃棄物 処理報告6/29	風呂水検査 (レジオネラ菌 大腸菌・濃度 過マンガン酸k) 7/10						風呂水検査 (レジオネラ菌 大腸菌・濃度 過マンガン酸k) 1/10 酸素申請 1/20		↑ ↑ ↑ ↑

- ・地域生活相談活動
- ・経済支援組織活動
- ・ひだまり (広報誌)

入所時コロナ抗原検査 (ショートステイ利用者) R4年8月~R6年12月 施設研修会 「救急対応」
「感染症対応」

令和 6 年度決算期
茨木市コミュニティソーシャルワーカー配置事業
社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）
住宅確保要配慮者居住支援事業
事業報告

◆総論

令和 6 年度は昨年度に引き続き住宅確保要配慮者居住支援法人事業への対応も同時に行い、その対象者のニーズに迅速に応えるべく、関係機関、関係者との連携の構築に努めた。

また昨年度から追手門学院大学、追手門学院中・高等部などの学生とコラボして、福祉とは異なった学生の視点から UR 総持寺団地や白川地区の地域づくりに取り組み、地域住民からは若者が自分たちの地域のために頑張っている姿をみて元気が出ると好評をいただいている。また当施設が所在する庄栄地区の庄春日神社秋祭りで学生たちの神輿の担ぎ手や幼い子ども達に祭りへの関心を持ってもらうためにコラボした取り組みが、大阪府社会福祉協議会社会貢献事業の令和 6 年度実践事例で奨励賞を受賞した。

◆具体的な活動

東小学校、白川小学校が担当校区であり、それぞれの地域で毎月 1 回開催される健康福祉セーフティネット会議。コロナ禍ではあったが、感染症対策を十分に行い予定通り開催した。

・健康福祉セーフティネット（いきいきネット）会議開催状況

（開催回数）

東小学校区：12 回 白川小学校区：11 回

* 8 月の白川地区はお盆期間中の為、当初より予定なし。

（参加人数）

東小学校区：延べ 238 名 白川小学校区：延べ 366 名

・電話、訪問、来所等による相談件数

・月別相談件数（延べ）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	21	23	27	26	20	23	24	23	19	22	21	26	275

・相談対象者内訳（延べ）

高齢者	障害者	子育て世代	その他	計
248	15	6	6	275

◆茨木地区協力雇用主会の取り組みへの参画

庄栄エルダーセンターでの月 1 回の車椅子等の清掃を行う「社会奉仕活動」で、毎回 2～3 名の院生が一生懸命に活動し、利用者様から「ありがとう」の賛辞が送られ、院生が大変喜ぶ光景が毎回あり、彼らの更生へのきっかけになればと願っている。

また院生全体に向けてや出院間近の出院準備生に対して、将来ビジョンについて講義するため定期的に講師として出向いている。

◆茨木市CSW協議会としての取り組み

平時からの地域の繋がりを構築することを目的に、市民や関係機関など12月6日茨木市役所南館の大会議室に150名が集いグループワークで標語を作り、災害時でもお互いが意識する取り組みを行った。

また市が計画している「重層的包括支援体制づくり」にもCSWとしてどのように関わっていけるかを協議会内で協議検討してその具現化に向けて取り組んでいる。

◆社会貢献（レスキュー）事業

今年度は以下の4件の該当ケースがあった。

- ・家賃滞納で強制退居をせざるを得ない方への住居確保及び生活必需品等の購入等。(3件)
- ・夫からの身体的DV被害者の転居に伴う初期費用等の支援。

◆住宅確保要配慮者居住支援事業

令和7年3月末日までの相談件数は、7件。

うち住宅確保までに至ったのが3件。

以上

令和 6 年度 庄栄エルダーデイサービス/認知症対応型デイサービス 事業報告

【令和 6 年度庄栄エルダーデイサービス/認知症対応型デイサービス稼働報告】

＊令和 6 年度は新規獲得利用者数よりも施設入所・入院の利用者数が上回った年であった。又、一時期に比べ週の利用回数も減少し稼働率アップに繋がらなかった。

＊営業方針としては【NO】はなしで、出来る限りの利用者要望の受け入れ、体験・新規利用に繋げていった。医療処置が必要な方に関しては、看護に相談し受け入れ体制を整えた。

＊令和 7 年 1 月には、職員のコロナ感染者がありクラスターの発生、利用者様は胃腸炎等が広がり厳しい月になってしまった。

＊毎月 2 日に課長、相談員、ショートステイ、ヘルプステーション・配食と共に実績表のお渡し、その際に営業も兼ねて事業所廻りの実施を行った。

【実績数値】

令和 6 年度 通所介護・総合支援事業通所介護（登録利用者数 49 名）

月	営業日数	通所介護	総合支援	合計	前年対比	目標	達成率
4 月	26 日	918 名	45 名	963 名	102.8%	1.274 名	75.5%
5 月	27 日	921 名	51 名	972 名	998.6%	1.323 名	73.5%
6 月	25 日	879 名	45 名	924 名	100.5%	1.225 名	75.4%
7 月	27 日	871 名	37 名	908 名	88.4%	1.323 名	68.6%
8 月	27 日	837 名	46 名	883 名	85.1%	1.323 名	66.7%
9 月	25 日	767 名	46 名	813 名	79.2%	1.225 名	66.4%
10 月	27 日	871 名	41 名	912 名	100.7%	1.323 名	68.9%
11 月	26 日	794 名	38 名	832 名	98.6%	1.274 名	65.3%
12 月	26 日	783 名	39 名	822 名	91.5%	1.274 名	64.5%
1 月	24 日	654 名	34 名	688 名	84.2%	1.176 名	58.5%
2 月	24 日	651 名	42 名	693 名	75.7%	1.176 名	58.9%
3 月	26 日	703 名	48 名	751 名	81.1%	1.274 名	58.9%
平均	25.8 日	804 名	42.6 名	846.7 名	90.4%	1.265 名	66.8%

令和6年度 認知症対応型通所介護（登録利用者数10名）

	営業日数	合計	前年対比	目標	達成率
4月	26日	100名	92.6%	260名	38.50%
5月	27日	124名	117.0%	270名	45.90%
6月	25日	114名	117.5%	250名	45.6%
7月	27日	124名	134.8%	270名	45.9%
8月	27日	119名	129.3%	270名	44.1%
9月	25日	135名	111.6%	250名	54.0%
10月	27日	131名	107.4%	270名	48.50%
11月	26日	126名	88.0%	260名	48.10%
12月	26日	110名	85.3%	260名	42.30%
1月	24日	100名	79.4%	240名	41.70%
2月	24日	121名	96.0%	240名	50.4%
3月	26日	147名	130.1%	260名	56.50%
平均	25.8日	120.9名	105.5%	258名	46.80%

【令和6年度 内部研修】

- 4月 介護報酬改定 担当：今井
 - 5月 接遇/ハラスメント/マナー研修 担当：眞田
 - 6月 BCP 非常災害研修 担当：尾関
 - 7月 非常時訓練（消防・防犯訓練） 担当：林
 - 8月 人権研修 担当：内田
 - 9月 認知症ケア研修 担当：福村幸
 - 10月 事故発生予防・再発の防止研修 担当：福村 幸
 - 11月 BCP 感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止研修 担当：矢吹
 - 12月 身体拘束/虐待研修 担当：兼本
 - 1月 プライバシー保護研修 担当：奥田
 - 2月 倫理・法令 担当：林
 - 3月 救急対応/処置の仕方 担当：福村看護
- ・内部研修は基本的にデイ会議にて実施を行っている。出席が難しい職員に関して資料を配布し、各自がレポートを提出する。

【令和6年度 外部研修内容】

- 5月15日 認知症介護実践リーダー研修 受講者：内田
8月26日 認知症の人の理解を深める～パーソン・センタード・ケアを中心に 受講者：林
2月21日 高齢者福祉実践・研究大会 受講者：眞田

【認知症運営推進会議】

12月11日に実施 担当：今井、兼本

【令和6年度 行事/イベント行事報告】

- *春のお楽しみ会 4/20
- *お菓子作り 5/13～18 /
- *初夏の遠足 6/9(奈良県)
- *七夕飾り 7/7
- *カーニバル 8/25
- *敬老会 9/13 /
- *秋の大運動会 10/18
- *フェスティバル 12/8
- *新春かくし芸大会 職員、利用者のコロナ感染や胃腸炎の方多く中止
- *孫・子・老ふれ愛フェスタ（作品展示） 1/9・10
- *ひな祭りイベント 3/3
- *外食ツアー（はま寿司） 2/17～21

2024年度ホームヘルプステーション 事業報告書

※2024年度 実績目標時間数 総時間数 1,900時間

(内訳介護保険1,500時間・障がいサービス300時間 子育て支援50時間 保険外サービス 50時間)

総時間数 目標時間1900時間 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1360	1587	1327	1421	1373	1337	1466	1347	1328	1219	1131	1214	16,111
目標比	72%	84%	70%	75%	72%	70%	77%	71%	70%	64%	60%	64%	71%
前年比	98%	107%	94%	107%	101%	97%	107%	96%	93%	96%	86%	89%	98%

《内訳》

介護保険 目標時間1500時間 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1138	1347	1129	1213	1179	1141	1247	1171	1143	1034	961	1146	13,849
目標比	76%	90%	75%	81%	79%	76%	83%	78%	76%	69%	64%	76%	77%
前年比	100%	109%	97%	109%	106%	101%	112%	101%	97%	96%	88%	100%	102%

※主要報告事項

昨年対比の時間数は悪くなかったが、法改正により単位数が下がっています。

利用者の状況も死亡者が10月～3月にかけて9名、入院者が毎月約10名おり、そのうち入所になりそのままサービスが消滅することが増えた。

10月～3月新規を30件受けてたが単位数を増やす事ができなかった。

障害居宅サービス・移動支援 目標300時間 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害(全)	192	203	177	186	159	162	195	154	152	147	151	136	2,012
目標比	64%	68%	59%	62%	53%	54%	65%	51%	51%	49%	50%	45%	56%
昨年対比	89%	100%	85%	101%	75%	79%	87%	75%	78%	94%	85%	78%	85%

○障害居宅サービス・移動支援

改正により単位数が下がった事、11月からは職員ヘルパーが移動したため、利用者減少した事も合わせて、昨年より時間数や、単位数を増やす事ができなかった。

子育て支援 目標50時間 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子育て	8	6	5	5	7	5	6	8	6	8	6	6	76
目標比	15%	13%	10%	10%	15%	10%	13%	15%	13%	15%	13%	13%	13%
昨年対比	214%	100%	100%	133%	193%	133%	250%	88%	46%	61%	50%	50%	118%

○茨木市より依頼があれば対応しています。

保険外サービス(アシスタント)					目標50時間								(時間)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	23	32	17	17	28	29	19	15	27	30	13	23	270
目標比	46%	65%	33%	34%	55%	58%	37%	30%	53%	60%	26%	45%	45%
昨年対比	94%	87%	42%	81%	112%	72%	49%	44%	58%	97%	48%	63%	70%

○保険外サービス

通院や、保険で対応できない方のために依頼があれば対応しています。

【求人活動の強化】

～訪問介護のヘルパー減少の危機を脱するために～

・杉浦と小林で8月から開催している「エルダー訪問介護 お仕事博」

トータル 8名訪問の内 4名登録しています。

・小林・松尾が活動している

「茨木市訪問型サービスAで」の求人活動では

活動後、看護師の資格をもつ方が(初任者研修取得同等)面接に来られ

二人の宣伝の言葉にこの施設しかないと思いましたと嬉しい言葉をいただき登録しています。

訪問型サービスA従事者も1名登録

・6月1日摂津での「就職フェア」に小林、宮崎が参加

(場所的な事や、訪問介護希望者がいない)

順調に登録者を増やしたが、反対に登録ヘルパー訪問A従事者1名が夏の暑さに耐えれず退職

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
登録ヘルパー	36	29	30	29	25	32
訪問型A従事者	4	3	2	2	3	2
訪問介護員職員	2	2	2	2	2	1
サービス提供責任者	5	5	6	6	7	6
合計(人数)	47	39	40	39	37	41

令和7年4月より登録ヘルパーの時間給を見直しています。

今後も求人活動を続けていき、登録ヘルパーの人数を増やしていきます。

【災害時等の対策】

○災害時など固定電話などの通信ができない場合を想定しての対策で

ラインワークスを利用していましたが、登録数が無料サービスを超えるため

MCS(メディカルケアステーション)を利用することにしました。

使用方法はラインワークスと変わらず移行できています。

【chat GPT活用】

○ケアマネジャーへの報告書や会議録など

大量の資料をまとめるに時間がかかるため

令和7年3月よりchat GPT(無料)を取り入れ事務処理に活用を開始

【ヘルパー勉強会の充実】 * 考えて行動できるヘルパー育成

★勉強会内部研修内容 職員、登録ヘルパー全員

月	内容
4月	基本的な接遇・記録
5月	身体介護(車いす介助)
6月	人権学習(障害)
7月	緊急時の心肺蘇生
8月	感染症(食中毒)
9月	リスクマネジメント(防災)
10月	車いす介助
11月	カスタマーハラスメントについて
12月	生活援助について
1月	リスクマネジメント(ハインリッヒの法則)
2月	認知症ケアで知って起きたい事
3月	アンガーマネジメントについて

・職員訪問介護員は、職員会議の後の学習会へ参加しています

・外部研修

・令和6年12月12日 意思決定支援の基礎(小林 宮崎)

・令和7年 1月10日 処遇改善加算に関する研修会に参加(杉浦)

・令和7年 1月20日 「虐待を防ぐためのまちづくり」(高木)

・令和7年 1月31日 人権問題(ハンセン病) (園山)

・令和7年 2月 6日 精神障害に対応した地域ケアシステム(にも包括)「にも会議」に参加 (松尾)

茨木市会議参加

・防災会議(東圏域)年間開催 小林12回 松尾9回 参加

・居宅部会へ(小林)

・障害部会へ(杉浦)

以上

令和6年度ケアプランセンター事業報告

○報告事項

- ・今期も引き続き感染予防のために各自ケアマネジャーは出勤前の検温・マスクの着用
手指消毒・フェースシールドの着用を徹底することで、感染予防に努めることができ、
安心して業務に就くことができた。
- ・令和6年度の新規プラン数 89件、他界・施設入所 64件、長期入院 13件とあった。
月々によってプラン数の波はあったが、ケアマネジャーが全員同じ目標に向かって
一致団結で動くことができたことが成果に繋がった。
- ・今期は家族からの新規プランの依頼と現時点で担当している利用者や家族からの紹介からの
新規プランの依頼が多かった。各ケアマネが担当している利用者だけではなく
エルダーケアプランの全利用者ひとり一人を6名のケアマネ全員が関わることで
利用者と家族との信頼関係がより一層築くことで輪が広がりプランの増加に繋がった

○ケアマネ活動報告

- ・週1回のケアマネ会議の開催（毎週火曜日 11時～12時）

（内部研修）

- ・毎月1回ケアマネ会議終了後

4月	接遇・人権について	10月	緊急時の対応
5月	認知症と認知ケアについて	11月	感染症・食中毒の予防蔓延防止
6月	ケアマネジメントのプロセス	12月	高齢者虐待防止
7月	プライバシー保護の取り組み	1月	ハラスメント対策
8月	倫理と法令遵守	2月	災害時における業務継続計画
9月	感染症における業務継続計画	3月	総合事業について

（外部研修）

4月	・地域ケア会議（太田・西河原地区） ・地域ケア会議（東・白川地区）
5月	・第1回ケアプラン研修（オンライン研修）
6月	・地域ケア会議（三島・庄栄地区、太田・西河原地区、東・白川地区）
7月	・地域ケア会議（太田・西河原地区）
8月	・地域ケア会議（東・白川地区） ・ケアマネスキルアップ研修
9月	・薬剤師による服薬支援装置について ・ヤングケアラーと生活困窮者（特定事業所加算対応） ・第1回ケアマネジメント研修（オンライン研修） ・地域ケア会議（三島・庄栄地区）
10月	・中堅介護職員・管理職合同研修会 ・第2回ケアマネジメント研修（オンライン研修） ・地域ケア会議（東・白川地区） ・地域ケア会議（三島・庄栄地区）
11月	・第3回ケアマネジメント研修（オンライン研修）

12月	・地域ケア会議（東・白川地区）
1月	・第4回ケアマネジメント研修（オンライン研修）
2月	・主任ケアマネ連絡会（オンライン研修） ・茨木市総合事業における自立支援・重度化防止に係る研修会

○実績報告

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ケアプラン数	206	212	214	220	218	211
予防プラン数	54	54	53	54	57	60
認定調査件数	18	21	22	17	18	18
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ケアプラン数	222	216	218	219	216	225
予防プラン数	58	60	64	59	61	64
認定調査件数	19	13	18	16	19	18

ケアプラン数 月平均 216 件

予防プラン数 月平均 58 件

認定調査件数 月平均 18 件

○サービス担当者開催件数

・延べ 461 件

医師との連携 56 件

介護保険更新申請時・区分変更時・介護サービスが増えたとき・減ったときに

サービス担当者会議を開催する。利用者は日々状態が変化しており、プランの変更が必要性和も増えているため必要に応じて、利用者を中心に関係者が意見を出し合う場を設定していく。

○戦略会議

・第1回 7月19日

・第2回 10月18日

・第3回 1月17日

・第4回 3月21日

＜令和6年度 三島・庄栄地域包括支援センター 事業報告書＞

東保健福祉センター内に開設され4年。周知活動、地域の活動の場に参加することで相談件数は増加。特に庄栄小学校区は高齢者人口でみると、1.6%増加。認知症の相談も増えており、本年度は認知症の周知・啓発に力を入れ、調剤薬局で認知症サポーター養成講座、藍野病院と共催でイオンタウン茨木太田で認知症予防となる補聴器の啓発をおこなった。社会福祉士としては、高齢者虐待の周知・啓発のため、被虐待者の9割に認知症があることから、虐待対応における意思決定支援について司法書士の方を講師に招き、ケアマネジャー、サービス事業所を対象に研修をおこなった。そして、例年通り、ウインターフェスティバルでは、小学校低学年とその親をターゲットに認知症の周知・啓発をおこなった。

1. 総合相談 介護保険未申請及び認定があってもサービス利用にむすびついていない方の相談

☆ 関係機関（ケアマネ、医療機関、CSW、民生委員、行政等）．． 延べ1069件

⇒前年度より、44件増加。

☆ 住民（本人、家族、知人等）．．．．． 延べ1501件

⇒前年度より、170件増加。

☆ その他（NPO、障害、民間サービス等）．．． 延べ148件

⇒前年度より、9件増加。

- 前年度より、全体で延べ223件増加し、新規相談者は442名で12名増加。生活上の相談（公的サービスでは対応できないもの、近隣問題、生活困窮等）が増加した。

2. 権利擁護事業

☆ 成年後見制度．． 延べ41件⇒前年度より、17件増加。

☆ 消費者被害．． 延べ6件⇒前年度は0件。

☆ 虐待．． 4人【身体的3件、介護放棄0件、経済的1件、心理的1件】※重複あり

サービス量を増やしたり、家族指導をおこなったが、1人は次年度も継続支援が必要。

⇒前年度より、3人増加。

- 被虐待者の4人中3人には認知症（認知症生活自立度Ⅱ～Ⅲ）、虐待者はすべて本人の子ども。

3. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

☆ ケアマネに対する個別指導・相談．．．．． 294回⇒前年度より、14件減少。

- 開設4年となり気軽に電話相談してもらえる関係ができてきているが、ケアマネの高齢化や業務量の負担などで退職者が増加したにもかかわらずケアマネの成り手が少ないことから、ケアマネ不足な状況。

☆ 関係機関との連携づくり※．．．．． 191回⇒前年度より、3件減少。

※関係機関との会議や連絡会、セーフティーネット会議（庄栄地区、三島地区）、小規模多機能施設等運営推進会議（グループホーム末広、デイサービス八重、エルダーデイサービスセンター。

ぱるの家、デイ100は開催なし。）

☆ 支援困難ケース※．．．．． 新規7人⇒前年度と同数。

※本人や家族に障害（精神、知的）、虐待、問題行動を伴う認知症状等の9項目に分類。

対応（電話や訪問、ケースカンファレンス等）は、123回。⇒前年度より、16回増加。

- 対応人数は前年度と同数だったが、1人に対応する回数は増え他職種や他機関で協働して支援する必要があるケースが多かった。

＜地区福祉委員会事業＞

☆サロン、給食会等【三島小学校区、庄栄小学校区】

40回（血圧測定、個別相談 延べ307名）

●前年度より、2回参加が減少し、血圧測定、個別相談84名減少した。

4. 地域ケア会議

【自立支援型地域ケア会議】

日にち	時間	場所	内容（事例）	参加人数
5月30日	14:00～15:10	東保健福祉センター	①病識（心不全）が薄い妻を介護する夫の介護負担が大きくなっている	13
7月25日	14:00～15:10	東保健福祉センター	②転倒、骨折を繰り返している女性	16
9月26日	14:00～14:45	東保健福祉センター	事例①モニタリング	19
10月24日	14:00～14:30	東保健福祉センター	事例②モニタリング	15

【複合型地域ケア会議】

6月27日	14:00～15:10	東保健福祉センター	③認知症（高次機能障害）のある夫を介護する妻の負担が大きいが、金銭的余裕がなく、サービスを増やせない	20
10月24日	14:35～15:10	東保健福祉センター	事例③モニタリング	18

【東圏域合同地域ケア会議】

1月27日	14:00～15:30	東コミュニティーセンター	認知症の方を地域で支えるためにできること	23
-------	-------------	--------------	----------------------	----

●その他

① 〈会議〉

- ・ 茨木市地域包括支援センター運営協議会（2回）
- ・ 茨木市地域包括支援センター連絡会（毎月）
- ・ 茨木市総合事業連絡会（毎月）
- ・ 茨木市認知症地域連携連絡協議会（1回）
- ・ レビュー会議【虐待評価】（3回）
- ・ 茨木市地域包括支援センター主任介護支援専門員連絡会（8回）
- ・ 茨木市地域包括支援センター医療職連絡会（13回）
- ・ 茨木市地域包括支援センター社会福祉士連絡会（5回）
- ・ 茨木市認知症地域支援員との連携会議（2回）
- ・ 茨木市立総持寺いのち・愛・ゆめセンター支援方策会議（1回）
- ・ 茨木市障害者・高齢者虐待防止ネットワーク連絡会（1回）
- ・ 東保健福祉センター連絡会（19回）
- ・ 東圏域連携会議（4回）
- ・ 茨木市高齢者サービス事業所連絡会 相談支援部会（8回）

- ・権利擁護相談センターいばらきとの意見交換会（１回）
- ・相談機能強化事業連携会議（３回）
- ・事例検討会（１回）

〈研修会開催等〉

- ・東圏域合同医療職研修会「ここが知りたい！精神訪問看護とは」
(8月8日：43名参加)
- ・東圏域合同ケアマネ研修会「実践で活用できる！認知症の人のコミュニケーション技法のヒントを手に入れよう～認知症の人の非言語メッセージを見落とさないために～」
(9月12日：45名参加)
- ・認知症サポーター養成講座【プラザ薬局 総持寺店】
(11月28日：20名参加)
- ・全域社会福祉士研修会「権利擁護研修～これって誘導？虐待対応における意思決定支援とは～」
(12月12日：24名参加)
- ・全域ケアマネ研修会「人生会議（ACP）ってそもそも何？」
(2月7日：51名参加)

〈周知・啓発等〉

- ・ウインターフェスティバル（12月15日：271名参加）
- ・調剤薬局、コンビニ、郵便局、銀行、総持寺クリニックビルへの訪問（年1回）

〈実習生〉

藍野大学 医療保健学部 看護学科 地域・在宅看護学実習（2日間 2名）

人員（令和7年3月末現在）※1

センター長(社会福祉士兼務)	1名
看護師	1名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	1名
介護支援専門員	1名

※1 令和6年5月15日 介護支援専門員1名退職

●介護予防マネジメント業務

一人平均20件制限のため、20件×4人＝80件／月を目標とした。

①総合事業（ヘルパー、デイのみ利用の方）

☆包括独自プラン．．．382件／年（内新規19件）
⇒前年度より、75件増加（内新規4件増加）

☆委託プラン．．．．．642件／年（内新規24件）
⇒前年度より、42件増加（内新規8件増加）

②予防給付（福祉用具レンタル、訪問看護、デイケアを単独利用若しくは総合事業と併用利用の方）

☆包括独自プラン．．．584件／年（内新規17件）
⇒前年度より、14件減少（内新規10件増加）

☆委託プラン．．．．．916件／年（内新規31件）
⇒前年度より、107件減少（内新規1件減少）

- 前年度より全体プラン数(包括独自、委託を合わせた)は4件の減少で横ばい傾向。そして、前年度と逆転して、総合事業の方は、(117件)増加し、予防給付は(121件)減少。明確な理由は不明であるが、予防給付で訪問看護や訪問リハビリを利用している方が要介護に移行した人が多かったことも減少の一因と考えられる。

【プラン数・売上】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給付	45	45	48	49	48	46	46	51	51	52	52	51
(金額)	212,805	212,805	226,992	231,721	226,992	217,534	217,534	241,179	241,179	245,908	245,908	241,179
内新規	2	2	1	1	0	0	2	6	1	0	1	1
(金額)	6420	6420	3210	3210	0	0	6420	19260	3210	0	3210	3210
総合	27	27	27	27	30	37	33	35	33	35	35	36
(金額)	127,683	127,683	127,683	127,683	141,870	174,973	156,057	165,515	156,057	165,515	165,515	170,244
内新規	1	0	0	2	5	6	0	2	0	2	0	1
(金額)	3210	0	0	6420	16050	19260	0	6420	0	6420	0	3210
給付+総合 (合計)	72	72	75	76	78	83	79	86	84	87	87	87
(金額)	340,488	340,488	354,675	359,404	368,862	392,507	373,591	406,694	397,236	411,423	411,423	411,423
給付+総合 (新規)	3	2	1	3	5	6	2	8	1	2	1	2
(金額)	3,210	3,210	12,840	6,420	3,210	9,630	3,210	6,420	3,210	6,420	9,630	3,210
総合計	364,032	378,090	387,720	376,614	354,660	365,766	354,660	357,870	349,974	353,184	347,022	321,858

達成率	90%	90%	94%	95%	98%	104%	99%	108%	105%	109%	109%	101%
-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	------	------	------	------	------

前年度より、プラン数が61件増。前年度の総売上（4,311,450円）だったため、前年度より+372,324円。

〈 太田・西河原 地域包括支援センター 〉 令和 6 年度 年間事業報告

○概要

- ・ 太田・西河原エリアにおいて、地域で暮らす高齢者の心身の健康保持や福祉の増進等のために様々な活動に取り組んでいます。
『太田・西河原レター』というオリジナル広報誌を年 3 回、2600 部発行いたしました。
地域の自治会長、自治会の回覧板や掲示板にて周知するとともに、民生委員の高齢者訪問時にも活用いただくことができました。
今後も定期的に発行し、センターの周知・啓発に努めてまいります。
- ・ アウトリーチ活動として、80 歳以上の介護保険未申請の高齢者 120 名に個別訪問を行い、支援の必要性をアセスメントするとともに、センターの周知も行いました。
認知症高齢者の早期発見・対応、医療受診勧奨、介護保険の申請代行など支援を行いました。
- ・ 地域ケア会議は、年間 6 回開催することができました。そのうち、1 回は複合課題世帯の事例を取り上げ、専門職の方よりさまざまな助言をいただくことが出来ました。
これらの会議では、多角的な視点を持ち高齢者の自立に向けた支援を行うと共に、地域の課題解決に向けた関係機関との連携を深めることができています。

○4つの目標に対して

1. 太田・西河原地域包括支援センター独自の広報誌（太田・西河原レターNo. 7、No. 8、総合チラシ）を 3 回発行することができました。2600 部作成し、太田地区の自治会長に持参、24 自治会の回覧板にて周知することができました、西河原地区は掲示板 19 か所に掲示して頂く事ができました。
2. 各職員が研修や勉強会に参加することで、相談対応・プラン作成のスキルが向上して、順調に人材育成ができております。
3. 4 人体制での運営ですが、当日の訪問相談にも対応するなど、信頼される機関となるよう職員一丸となり努めております。
4. 災害時の対応については、東圏域連携会議やセーフティ会議に参加して、関係機関との情報交換など連携を強化しました。

○活動報告

1. 総合支援事業に関するケアマネジメント業務

- ①訪問型サービス、通所型サービス、短期集中サービスの特徴など理解を深めております。また、一般介護予防事業も積極的に活用しました。
- ②新しい総合事業のサービスに関しての研修会にも随時参加し、サービス内容の理解を深め、利用者へ提案しております。

2. 予防給付に関するケアマネジメント業務

- ①要支援認定者に対して、適切なアセスメントに基づき、プラン作成いたしました。包括担当の新規プランについては、引き続き目標の80件を目指し、努めてまいります。また、委託先の居宅介護支援事業所への助言・指導も随時実施しております。
- ②要支援から要介護となった利用者様（今年度は40名）に対して、居宅介護支援事業所に迅速に繋ぎ、スムーズに移行しました。

3. 総合相談・支援事業

- ①今年度は3170件の電話や来所等による相談に対応し、的確な情報提供や、訪問・支援を行いました。相談の経路については本人・家族以外では、クリニックや病院など医療機関やケアマネジャーからの相談が多くなっております。
- ②地域住民の困りごとや本来支援が必要な方に支援が届いているか？というアウトリーチの必要性を考え、80歳以上の高齢者120名に対して、個別訪問を実施しました。
- ③茨木市内の全包括、行政、関係機関・隣接する病院や事業所との連携・情報交換も密に行うことができました。
- ④地域のサロン・カフェに参加して、高齢者の実態把握・顔の見える関係作りを継続し、住民活動の支援も行っています。
- ⑤東保健福祉センターとの連携は、毎月の会議にて情報共有や連携した対応ができしており、今後も連携を強化していきます。

4. 権利擁護事業

- ①虐待等のケースに対して、包括三職種で情報共有し、安全を迅速に確認するとともに、相談支援課やサービス事業所とも連携し、支援を行うことができました。
(定期的にモニタリング実施)
- ②消費者被害防止のため、地域住民が集まる場で周知・啓発や注意喚起を行いました。

5. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ① 居宅介護支援専門員が抱える困難事例等に対し、随時、指導・助言もしくは連携を行いました。
- ② 茨木市および圏域のケアマネジャー対象に研修会を2回実施。「認知症高齢者の対応」と「人生会議」についての研修会を開催しました。
- ③ 近隣のクリニックと顔の見える関係作りはできており、医師から直接相談を受けることもありました。また、入退院時には相談員との連携を密に行い、利用者の在宅生活を支援しました。

6. 地域ケア会議の実施

- ① 令和6年度、地域ケア会議を6回実施することができました。
自立支援型4回、複合課題事例1回、地域課題の検討（3包括合同）1回 計6回

7. その他

- ① 包括主催の認知症サポーター養成講座は、地域住民や関係機関からも高い評価をいただく事が出来ました。
- ② 個人情報情報の保護・管理を徹底して行っております。
- ③ 夜間・休日等も転送電話により24時間体制で対応しました。
(月30件程度 転送電話対応しています)

★令和6年度 業務実績 介護予防支援費

介護予防	530件（前年460件）	2,551,310円（うち新規14件）
総合事業	416件（前年450件）	2,002,574円（うち新規11件）
946件（前年910件）		4,553,884円（前年比104.2% 4,366,980円）

★セーフティネット会議

(今年度実績)

- ・ 太田セーフティネット会議 (4回)
- ・ 西河原セーフティネット会議 (6回)

★給食会・サロン・老人会

- ・ 太田地区福祉委員会 ・ ・ ・ ①いきいきサロン（健康相談・血圧測定） 年 1 回 休止
②単身高齢者みまもり事業 年 1 回
③おちゃべりサロン 年 1 回程度
④東太田アーデル自治会(体操の会) 年 4 回程度 休止
- ・ 西河原地区福祉委員会 ・ ・ ・ ①サニーサロン 毎月 1 回木曜日 10 回開催
②やまびこの会 毎月 1 回火曜日 8 回開催
③ティーサロン 毎月 1 回月曜日 8 回開催
④こだま会 毎月 1 回水曜日 10 回開催
⑤ひだまりサロン 毎月 1 回土曜日 8 回開催

★会議等

(今年度実績)

- ・地域包括支援センター運営協議会 (2回)
- ・地域包括支援センター連絡会 (オンライン含む) 毎月第3水曜日 (11回)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業連絡会 (同上) 毎月第3水曜日 (11回)
- ・主任ケアマネ会議 (同上) 毎月第3金曜日 (11回)
- ・医療職会議 (同上) 毎月第4火曜日 (11回)
- ・社会福祉士会議 毎月第2火曜日 (7回)
- ・高齢者虐待レビュー会議 (全体の評価・振り返り) (3回)
- ・太田・西河原エリア連絡会 (12回)
- ・東圏域連携会議 (4回)
- ・茨木ケアセンターラガール運営協議会 (6回)
- ・みさき花園グループホーム運営協議会 (5回)

★今年度 ケアプラン数

- ・自己プラン 目標 80 件 (20 件×4 人) / 月 に対して
→令和 7 年 3 月 は 74 件 (達成率 92.5%)

*相談内容に応じ、自己プランにスムーズにつなげるよう努めています。

【令和6年度実績】 職員 4名 介護予防 2,551,310

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プラン数		38	39	44	45	47	44	42	43	47	47	46	530
④介護予防支援費	179,702	184,431	208,076	212,805	222,263	208,076	198,618	203,347	226,992	222,263	222,263	217,534	2,506,370
内新規プラン数	1	3	1	1	1	0	0	0	4	1	2	0	14
⑤初回加算	3,210	9,630	3,210	3,210	3,210	0	0	0	12,840	3,210	6,420	0	44,940
介護予防支援費総額 (A)+(B)	182,912	194,061	211,286	216,015	225,473	208,076	198,618	203,347	239,832	225,473	228,683	217,534	2,551,310

【令和6年度実績】 職員 4名 総合事業 2,002,574

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プラン数	39	38	36	34	36	40	37	35	32	31	30	28	416
④介護予防支援費	184,431	179,702	170,244	160,786	170,244	189,160	174,973	165,515	151,328	146,599	141,870	132,412	1,967,264
内新規プラン数	2	1	0	0	2	1	1	0	1	0	1	2	11
⑤初回加算	6,420	3,210	0	0	6,420	3,210	3,210	0	3,210	0	3,210	6,420	35,310
介護予防支援費総額 (A)+(B)	190,851	182,912	170,244	160,786	176,664	192,370	178,183	165,515	154,538	146,599	145,080	138,832	2,002,574

〈 東・白川 地域包括支援センター 〉 令和6年度 事業報告

○概要

東・白川地域包括支援センターでは、地域の方との顔の見える関係づくりやネットワークの構築、居場所づくりに努めてきました。

東地区の総持寺団地では「ささえあいネットワーク」として、市内の関係機関以外に、高槻市富田地域包括支援センターや UR 千里住まいセンター、追手門大学とも連携しています。白川地区では「白川コープつながるミーティング」の定期イベントに参加協力しました。新たにシルバークラブから依頼を受けて、講話を開催させていただきました。相談件数は増加傾向にあります。認知症やフレイル等による介護保険や福祉サービス等の案内や代行申請、安否確認や救急搬送などの緊急対応も行っています。8050 問題などの複合課題を抱えるケースも多く、市や他機関とも連携しながら支援に努めています。

○4つの目標に対して

1. 東地区の「ささえあいネットワーク」と白川地区の「白川コープつながるミーティング」を中心に、地域づくりに協力しました。
2. 相談者や支援対象者に対し、専門知識と誠意を持って、よりよい対応ができるよう心がけています。
3. 市の関係機関以外に、状況によっては同法人事業所の支援協力を得られています。また、市外の他機関とも連携し、地域ネットワークの拡大に努めています。
4. 個人の目標に合わせて積極的に研修会に参加しています。受講した研修内容は、スタッフで共有し、スキルアップに努めています。

○活動報告

1. 予防給付・総合支援事業に関するケアマネジメント業務
 - ①要支援認定者に対して、プラン作成を行い、地域で自立した生活が送れるよう支援しました。委託先の居宅介護支援事業所への助言・指導も実施しました。
 - ②新規申請から要介護認定の方 64 名、要支援から要介護となった利用者様 43 名に対して、居宅介護支援事業所に迅速に引継ぎ、介護保険サービスの利用継続とケアマネジャーの後方支援に努めました。
 - ③リハビリ専門職・栄養士同行訪問等総合事業活用以外に、介護予防教室や地域の居場所などの社会資源の紹介など、高齢者が自宅で自立して生活できるよう支援に努めました。
 - ④シルバークラブや、地域サロンにて、はつらつパスポートを活用したフレイル予防講座や「困ったときの相談先」として包括の啓発講話を行いました。

2. 総合相談・支援事業

- ①R6 年度延べ 3958 件の相談（電話、訪問、来所）に対し、自宅訪問を中心とした支援を行いました。うち 689 件が困難ケース対応でした。
- ②東圏域連携会議、東・白川エリア会議、セーフティネット会議等での情報共有だけでなく、複合課題事例ではアウトリーチ支援員と連携し、経済的課題や 8050 問題を抱える世帯等の支援もスムーズに進める事ができています。
- ③隣接する高槻市の地域包括支援センターや総合病院を始め、連携先は広がっています。
今年度は、富田町病院訪問看護ステーションとの連携をきっかけに、大阪府看護協会開催の ACP 研修にて事例を共有することができました。
- ④毎月 7 か所以上の地域活動にて相談・血圧測定会を開催し、延べ 475 名の高齢者に対応しました。
- ⑤総持寺団地では「ささえあいネットワーク」として地域課題解決に向けて、市内の関係機関や、高槻市富田地域包括支援センター、UR 千里住まいセンター、追手門大学とも、連携を深めています。白川地区では「白川コープつながるミーティング」のメンバーとして、高槻市三箇牧地域包括支援センター等市外の機関とも協働し、高齢者向けに認知症や健康をテーマにイベントの開催に協力しました。

3. 権利擁護事業

- ①②虐待相談対応数延べ 260 件（対応ケース 4 件）に対して、包括三職種で迅速に安全確認するとともに、市の関係部署やケアマネジャー、サービス事業所とも連携し、成年後見市長申し立てや措置入所などの支援につなぐことができました。
- ④特殊詐欺の情報についてはセーフティネット会議や民生定例会等にて地域住民との情報共有や啓発に努めました。
- ⑤成年後見制度の利用が必要と思われる身寄りのない利用者に対して、受信等を含めた申し立て支援を行いました。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ①ケアマネジャーからの相談等に対して、延べ 899 件の助言や個別指導など後方支援に努めました。困難事例等に対しては、随時、助言や同行訪問を行いました。
- ②ケアマネジャーの資質向上を目的に、年間 2 回の研修会を開催しました。
第 1 回は東圏域ケアマネジャーを対象に「認知症の人の非言語メッセージを見落とさないために」講座、第 2 回は市内ケアマネジャー対象に「人生会議」講座を開催しました。
- ③精神科訪問看護ステーションとケアマネジャーの交流会を開催し、ケアマネジャーが介護サービスだけでなく、医療との連携も図れるよう支援に努めました。

5. 地域ケア会議の実施

①自立支援型3回、地域課題検討型2回の計5回を開催しました。

②1月には東圏域合同にて地域課題検討型会議を開催しました。

「認知症の人が住み慣れた地域で暮らすには」シリーズ第3弾として、「地域連携における個人情報利用時の注意点」をテーマに司法書士の講座と住民を含めた多職種にて、グループワークを行いました。

6. その他

①個人情報の保護・管理を徹底して行いました。

②夜間・休日等も転送電話により24時間体制で対応しました。

③マスク着用や手洗い、消毒剤の使用にて、感染予防対策を継続しました。感染症蔓延時のBCPをスタッフで共有し、感染予防の意識づけを行いました。

④災害時、感染症蔓延時のBCPについては定期的に机上訓練、マニュアルの見直しを行い、実際に活用できるようスタッフで共有しています。

★セーフティネット会議

(年間実績)

・東セーフティネット会議	(11回)
・白川セーフティネット会議	(11回)
・民生定例会	(6回)
・総持寺ささえあいミーティング	(2回)
・白川コープつながるミーティング	(11回)

★給食会・サロン・老人会等

・白川地区福祉委員会	・・・	つどい白川	(4回)
	・・・	アクティブサークル	(1回)
・東地区福祉委員会	・・・	いきいきサロン	(4回)
	・・・	一人暮らし高齢者給食会	(4回)
・街角デイハウス	・・・	コアな仲間	(7回)

★地域相談会

・東コミュニティセンター	いこいこ亭相談会	(11回)
・白川高層住宅集会所	いこい亭相談会	(11回)
・白川公民館	カフェしらかわ	(8回)
・鮎川3丁目集会所	カフェあゆみ	(6回)
・総持寺団地集会所	だんカフェ	(5回)

- ・ぷらっとホーム ル・リアン カフェひまわり畑 (7回)

★会議等

- ・地域包括支援センター運営協議会 (2回)
- ・地域包括支援センター連絡会 毎月第3水曜日 (10回)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業連絡会 毎月第3水曜日 (11回)
- ・主任ケアマネ会議 毎月第3金曜日 (13回)
- ・医療職会議 毎月第4火曜日 (12回)
- ・社会福祉士会議 不定期第2火曜日 (8回)
- ・高齢者虐待レビュー会議(全体の評価・振り返り) (3回)
- ・東・白川エリア会議 毎月不定期 (8回)
- ・東圏域連携会議 (4回)
- ・大阪府三島在宅医療懇話会 (1回)

★講話、イベント等

- ・総持寺団地イベント・・・ ガーデニングイベント (2回)
- ・「地域をつなGO」イベント・・・ ユーブ白川店 (6回)
- ・西鮎川シルバークラブ 講話(フレイル予防・包括啓発) (2回)

○売上報告

- ・自己プラン 目標 80件/月 (20件×4名) に対して
→ 平均 76件/月 (達成率 95%)

令和6年度 売り上げ実績(予防+総合)	総合計
プラン数	910
④介護予防プラン料	4302304
内新規プラン数	30
⑤初回加算	96300
介護予防プラン料総額(④+⑤)	4398604

【令和6年度実績】 職員4名(6月まで5名、2月から3名) 介護予防 2,935,351

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プラン数	46	52	52	54	58	59	58	54	48	41	42	42	606
④介護予防支援費	217534	244865	245908	255366	274282	279011	274282	255366	226992	193889	198618	198618	2864731
内新規プラン数	4	2	4	2	4	2	0	0	0	2	2	0	22
⑤初回加算	12840	6420	12840	6420	12840	6420	0	0	0	6420	6420	0	70620
介護予防支援費総額 (④+⑤)	230374	252285	258748	261786	287122	285431	274282	255366	226992	200309	205038	198618	2935351

32

【令和6年度実績】 総合事業 1,463,253

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プラン数	30	29	31	27	26	28	25	25	24	20	19	20	304
④介護予防支援費	141,827	137,141	146,599	127,683	122,954	132,412	118,225	118,225	113,496	94,580	89,851	94,580	1,437,573
内新規プラン数	2	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	8
⑤初回加算	6,420	3,210	3,210	3,210	0	6,420	0	0	0	0	0	3,210	25,680
介護予防支援費総額 (④+⑤)	148,247	140,351	149,809	130,893	122,954	138,832	118,225	118,225	113,496	94,580	89,851	97,790	1,463,253

今年度も感染症予防対策を継続しながら事業を実施しました。センター利用者数や団体の貸部屋事業は、昨年度に比べ少しずつ増加傾向にあります。

職員配置としましては、事務所に2人以上(午後5時～6時まで1人勤務)の常時職員と送迎車の運行に1人の職員で実施しています。日常は、マスク着用(自己判断)・手指消毒・検温・換気などを徹底して管理・運営を行いました。

(1) 施設の利用人数について

利用者総数につきましては15,464人、その内 中学・高校生が学習室を利用した人数は288人でした。1か月の平均利用者数は1,290人となりました。

また、送迎車の利用者数は2,641人でした。

(2) 施設の利用状況について

利用状況につきましては、同好会や趣味の団体により曜日を決めての活動、日常的にはマッサージ機やヘルストロン、囲碁・将棋、バンパー、卓球台、健康麻雀を利用され、高齢者の活発な活動・交流・健康維持の場として利用されています。

同好会や団体の活動としましては、「グラウンドゴルフ」「囲碁・将棋」「カラオケ」「民謡」の各種同好会が、また、趣味の団体として、「カラオケ」「民謡」「踊り」「オカリナ」「詩吟」などがあります。

子どもの利用に関しましては、中学生と高校生が自習のために利用する場として「学習室」を運営しており、月1回2時間ではありますが「学習支援アドバイザー」を配置して、学習の支援を行っています。さらに、学習時間を拡大してセンターの利用促進を図るため、定期考査の前に学習ボランティアを募集して学習できる環境を整えました。

世代間交流事業として、ものづくり教室を実施しました。利用者数は40名でした。好評につき来年度も実施予定です。また、絵本読み聞かせと歌って遊ぼうについては、毎月の第4土曜日に実施し利用者数は132人(11人/回)です。季節に応じて特色ある内容を考えられて活動されています。

(3) 高齢者向け事業・介護予防教室や自主事業について

介護予防教室につきましては、利用者間の健康保持や交流などを目的として定期的に実施しており、その内容は「介護予防リズム体操」1回/月や「元氣いばらき体操」1回/月を延べ12回実施し、利用者数は678人(57人/回)でした。

高齢者向け事業としましては、軽快な音楽に乗って柔らかい紐などの用具も活用しながら、身体の部分全体を動かすなどの「高齢者向けリズム体操」2回/月や「健康リハビリ体操」1回/月を延べ36回実施し、利用者数は1,471人(41人/回)でした。

高齢者に人気の「カラオケ広場」や「カラオケナイト」を延べ21回実施し、利用者数は542人(26人/回)でした。

教養講座につきましては、ヤクルト教養講座では「快調生活で健康になろう」や「生活習慣病とその予防」を、明治安田生命教養講座では「認知症の理解」「介護の不安を解決」「みんなで知ろう健康チェック」を実施しました。延べ10回実施し、利用者数は144人(14人/回)でした。

シニアプラザ出張講座として、ニュースポーツ体験会を実施しました。利用者数は43人(14人/回)でした。

また、キャッシュレス啓発講座として、利用者のニーズに応えた講座となりました。利用人数は8人でした。

映画会につきましては、懐かしい映画などの作品を2回/月上映して、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。利用者数は246人(10人/回)でした。健康麻雀の貸卓

事業も増加傾向にあります。

また、消火・避難・通報AEDを使った心肺蘇生法の訓練では35人、交通安全教室では7人の利用者の皆さんの参加がありました。

自主事業として送迎車の運行につきましては引き続き利用者の利便性を確保するため実施しております。利用者は2,641人（220人/月）でした。

また、今年の7月から利用者の皆さんの憩いの場として実施した多世代カフェについては、順調に運営できております。利用者数は延べ12回実施し169人（14人/回）の参加でした。

< 部屋利用料及び附帯設備利用料の収入金額 >

4 月	部屋利用料	51,920 円		
	附帯設備利用料	23,300 円	計	75,220 円
5 月	部屋利用料	47,920 円		
	附帯設備利用料	22,100 円	計	70,020 円
6 月	部屋利用料	45,560 円		
	附帯設備利用料	30,400 円	計	75,960 円
7 月	部屋利用料	45,900 円		
	附帯設備利用料	27,800 円	計	73,700 円
8 月	部屋利用料	45,820 円		
	附帯設備利用料	32,200 円	計	78,020 円
9 月	部屋利用料	43,200 円		
	附帯設備利用料	29,000 円	計	72,200 円
10 月	部屋利用料	47,300 円		
	附帯設備利用料	31,600 円	計	78,900 円
11 月	部屋利用料	46,760 円		
	附帯設備利用料	28,700 円	計	75,460 円
12 月	部屋利用料	39,340 円		
	附帯設備利用料	31,100 円	計	70,440 円
1 月	部屋利用料	47,540 円		
	附帯設備利用料	22,500 円	計	70,040 円
2 月	部屋利用料	31,080 円		
	附帯設備利用料	27,000 円	計	58,080 円
3 月	部屋利用料	67,420 円		
	附帯設備利用料	33,300 円	計	100,720 円
合計	部屋利用料	559,760 円		
	附帯設備利用料	339,000 円	合計	898,760 円

< 月別事業内容 >

※ () 内は参加人数

4 月	3 日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(41人)
	5 日	高齢者向け事業「映画会」(9人)
	10 日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(52人)
	14 日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(11人)
	17 日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(35人)
	19 日	高齢者向け事業「映画会」(10人)
	20 日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(15人)
		学習支援アドバイザー (0人)
	21 日	絵本読み聞かせ・うたってあそぼう (7人)
	23 日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(53人)
	24 日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(52人)
5 月	1 日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(48人)
	8 日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(52人)
	10 日	高齢者向け事業「映画会」(9人)
	12 日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(9人)
	15 日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(41人)
	17 日	明治安田生命教養講座 (11人)
	18 日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(20人)
		学習支援アドバイザー (0人)
	22 日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(57人)
	24 日	高齢者向け事業「映画会」(12人)
6 月	26 日	絵本読み聞かせ教室・うたってあそぼう (6人)
	28 日	高齢者向け事業「さつきまつり」(160人)
	5 日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(51人)
	7 日	高齢者向け事業「映画会」(12人)
	9 日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(8人)
	12 日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(45人)
	15 日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(11人)
		学習支援アドバイザー (1人)
	19 日	高齢者向け事業「キャッシュレス普及啓発講座」(8人)
	21 日	高齢者向け事業「映画会」(11人)
		ヤクルト教養講座 (11人)
	23 日	絵本読み聞かせ・うたってあそぼう (15人)
	25 日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(55人)

7月	3日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(53人)
		高齢者向け事業「ニュースポーツ体験」(14人)
	5日	高齢者向け事業「映画会」(8人)
	10日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(40人)
	12日	多世代カフェ(カフェうぐいすの里福井)(14人)
	14日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(8人)
		親子でものづくり教室(23人)
		学習支援アドバイザー(0人)
	17日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(44人)
	19日	明治安田生命教養講座(12人)
		高齢者向け事業「映画会」(13人)
	20日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(19人)
	24日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(57人)
	28日	絵本読み聞かせ・うたってあそぼう(17人)
8月	30日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(54人)
	31日	消火・避難・通報・AEDを使った心肺蘇生法(13人)
	2日	交通安全教室(7人)
		高齢者向け事業「映画会」(14人)
	7日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(52人)
	14日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(48人)
	16日	高齢者向け事業「映画会」(16人)
	17日	学習支援アドバイザー(0人)
		高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(18人)
	18日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(8人)
	21日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(43人)
	23日	ヤクルト教養講座(11人)
		多世代カフェ(カフェうぐいすの里福井)(14人)
	25日	絵本読み聞かせ・うたってあそぼう(8人)
9月	27日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(44人)
	28日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(56人)
	29日	福井納涼夏祭り(164人)
	4日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(53人)
		ニュースポーツ体験会(11人)
	6日	高齢者向け事業「映画会」(32人)
	8日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(5人)
	11日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(57人)
		多世代カフェ(カフェうぐいすの里福井)(14人)
	16日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(68人)
10月	18日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(44人)
	20日	高齢者向け事業「映画会」(21人)
		明治安田生命教養講座(14人)
		多世代カフェ(カフェうぐいすの里福井)(18人)
	21日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(13人)
		学習支援アドバイザー(0人)
	25日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(57人)
	29日	読み聞かせ・うたってあそぼう(5人)
	2日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(58人)
	4日	高齢者向け事業「映画会」(32人)
10月	9日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(58人)
	13日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(14人)
	16日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(40人)
	18日	高齢者向け事業「映画会」(32人)
		ヤクルト健康講座(29人)
	19日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(14人)
	23日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(59人)
	27日	読み聞かせ・うたってあそぼう(7人)
	29日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(45人)

11月	1日	高齢者向け事業「映画会」(32人)
	6日	ニューススポーツ体験会(18人)
		高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(51人)
	9日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(14人)
	10日	秋の演奏会(57人)
	13日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(55人)
		高齢者向け事業「カラオケナイト」(8人)
	15日	明治安田生命教養講座(14人)
		高齢者向け事業「映画会」(15人)
	20日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(41人)
	24日	読み聞かせ・うたってあそぼう(22人)
12月	26日	もみじまつり(150人)
	27日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(53人)
	4日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(52人)
	6日	高齢者向け事業「映画会」(15人)
	8日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(4人)
		親子でものづくり教室(17人)
	11日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(57人)
	18日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(45人)
	20日	ヤクルト健康講座(15人)
	22日	読み聞かせ・うたってあそぼう(14人)
	24日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(49人)
1月	25日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(53人)
	8日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(53人)
	10日	高齢者向け事業「映画会」(26人)
	12日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(6人)
	15日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(50人)
	17日	高齢者向け事業「映画会」(14人)
		明治安田生命教養講座(11人)
	18日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(19人)
	22日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(54人)
	26日	読み聞かせ・うたってあそぼう(6人)
	28日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(44人)
2月	29日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(59人)
	5日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(61人)
	7日	高齢者向け事業「映画会」(14人)
	9日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(9人)
		読み聞かせ・うたってあそぼう(7人)
	12日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(56人)
	15日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(17人)
	19日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(48人)
	21日	高齢者向け事業「映画会」(25人)
		ヤクルト健康講座(18人)
	25日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(43人)
3月	26日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(64人)
		消防避難訓練(22人)
	1日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(22人)
	5日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(56人)
	7日	高齢者向け事業「映画会」(17人)
	9日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(4人)
	12日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(56人)
	15日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(22人)
	19日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(40人)
	21日	高齢者向け事業「映画会」(17人)
		元氣塾(グループダイナミックス)(17人)
	23日	読み聞かせ・うたってあそぼう(18人)
	25日	さくらまつり(162人)
	26日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(60人)

<実施事業の実施回数及び利用者数>

介護予防教室		介護予防リズム体操	12 回	678 人
		元気いばらき体操	12 回	513 人
高齢者向け事業	体操	高齢者向けリズム体操	24 回	1267 人
		健康リハビリ体操	12 回	204 人
	カラオケ	カラオケ広場	9 回	455 人
		カラオケナイト	12 回	87 人
	映画	映画会	24 回	246 人
	納涼大会	福井納涼夏祭り	1 回	164 人
	教養講座	ヤクルト健康講座	5 回	84 人
		明治安田健康講座	5 回	60 人
		ニューススポーツ出張講座	3 回	43 人
キャッシュレス普及啓発講座		1 回	8 人	
子ども・子育て世帯向け事業		学習サポート(アドバイザー)	12 回	9 人
		学習サポート(定期考査前)	12 回	0 人
世代間交流事業		絵本読み聞かせ・うたってあそぼう	12 回	132 人
		親子でものづくり教室	2 回	40 人
自主事業		カフェうぐいすの里福井	12 回	169 人
消火・避難・通報AEDを使った心肺蘇生法の訓練			2 回	35 人
交通安全教室			1 回	7 人
合 計			157 回	4,201 人

<センター利用者数等>

	利用 者 数			送 迎 車 利用者数
	一般	団体	合計	
4 月	271 人	995 人	1,266 人	189 人
5 月	249 人	981 人	1,230 人	224 人
6 月	374 人	1,048 人	1,422 人	235 人
7 月	325 人	877 人	1,202 人	205 人
8 月	332 人	964 人	1,296 人	229 人
9 月	332 人	931 人	1,263 人	211 人
10 月	347 人	940 人	1,287 人	227 人
11 月	340 人	1,128 人	1,468 人	253 人
12 月	385 人	819 人	1,204 人	207 人
1 月	265 人	928 人	1,193 人	205 人
2 月	327 人	877 人	1,204 人	201 人
3 月	390 人	1,039 人	1,429 人	255 人
合 計	3,937 人	11,527 人	15,464 人	2,641 人

令和6年度 デイサービスセンター未来 事業報告

〔令和6年度事業報告事項〕

デイサービスセンター未来の運営事業に関する報告

- ・令和5年度と令和6年度を比較した結果、令和5年度の売り上げを上回る成績を出すことができた。
- ・令和6年度は稼働率が95%以上の月が10カ月もあった。
- ・週1回利用のご利用者様が週2回、週3回利用に遂行して頂けた。
(但し、週1回利用のご利用者様が減ったことで、増回してくれるご利用者様が減っている)
- ・分母の数が徐々に減ってきており、週6回利用の方が増えた。
(週6利用のご利用者様が急に中止になった場合、次の方の受け入れがスムーズに遂行出来るかが課題である)
- ・イベントは継続して行ったがイベントで臨時希望の方の受け入れを断らないといけない企画があった。
- ・営業自体を止めることなく、週1回利用の方を受入れを行っていく。
(体験利用の方の受け入れも行う)
- ・マニュアルをすぐに確認出来るよう職員が届く位置に移動した。
- ・LIFE (科学的介護加算3か月に一回) 厚生労働省に送った。
- ・運営推進会議を行い、地域の方の意見などを聞いた。
- ・このままのペースの売り上げの確保をする。
(増回希望があった場合、すぐに対応できるようにする)
(未来の満足度を上げて、帰宅願望のない施設づくりをする)
(空きは作らない、空きが出来たらすぐに対応する)
(空きが出来そうな場合には早急に動いて、新規の受け入れが出来るようにする)
- ・現在のペースをしっかりと保ち、数字を落とさないようにする。

○中長期計画に基づき

- ☆認知症指導管理士の資格保持者が4名になり、介護福祉士+認知症の資格で質の高い介護が出来、認知症の方へのコミュニケーション能力を身につける事が出来ている。
- ☆会議の中でリスク会議・苦情対応・緊急時対応を学び、施設内外においても安心・安全・寄り添える施設として、活動していくことが出来た。
- ☆認知症介護をして症状のコントロールを行い
帰宅願望0施設として動く事が出来た。
- ☆職員同士のフォローやアドバイスを行い、モチベーションをあげて頂き離職0を遂行した。

☆運営推進会議

令和6年 6月20日（木）	12名	家族様 民生委員 ケアマネ様
令和6年 12月19日（木）	10名	ご本人様 地域包括センター様など
内容 活動業況の報告 令和6年度の、事業計画、目標、イベント、要慮者避難施設、職員外部研修計画についての報告を行う。認知症対応型通所介護のあり方、今後の協力をお願いする。認知症についての勉強会も行っています。		

〔実績報告〕

年月	営業日数(日)	目標	利用者様(名)	一日平均 利用者様人数 (名)	稼働率	前年対比
令和6年4月	26	312	307	11.8	98.4%	117.2%
5月	27	324	310	11.5	95.7%	102.6%
6月	25	300	292	11.7	97.3%	99.3%
7月	27	324	313	11.6	96.6%	105.9%
8月	27	324	298	11.0	92.0%	103.6%
9月	25	300	269	10.8	89.7%	96.8%
10月	27	324	317	11.7	97.8%	93.1%
11月	26	312	298	11.5	95.5%	97.9%
12月	26	312	301	11.6	96.5%	110.1%
令和7年1月	24	288	286	11.9	99.3%	102.1%
2月	24	288	288	12.0	100.0%	106.3%
3月	26	312	301	11.6	96.5%	102.0%
合計	310	3720	3580	-	-	-
年間平均	-	-	-	11.6	96.3%	103.2%

稼働率が95.0%を超えた月が10か月あり、今年度においても大きな成果だった令和6年度となりました。

平均人数においても四捨五入すると12名のご利用者様が来られた計算となります。

分母の数が減ってきているので、早期に対応していく必要があるものの、オーバーにならないように調節を行い、空き状態を作ることなく維持に向けた動きを行う。

イベントは継続し、売り上げの維持を務めていき、外向きのアピールにも繋げていきます。

〔勉強会〕

2024年	内部勉強会内容	感想・勉強したこと	担当者名
4月25日	業務改善 (LIFE) について	利用者様の状態やケアの実績の変化等を踏まえた計画等の改善を行うことで データーに基づくさらなるPDCAサイクルを推進し、ケアの質の向上に繋げ、 精度の向上を行うことが出来るという事を学習した。	井上
5月19日	リスクマネジメント (ヒヤリハット)	「介護現場のリスクマネジメント・事故防止」考え方・重要性について学習し ご利用者様の安心と安全を確保でき、職員を守る事にもつながり、 事業所の信用も高くなる事を学習する。	長田
6月16日	緊急時の対応 (避難確保計画に基づいて)	火災が起きた時・水害が起こった時に 私たちが出来ること、行動する事を 学習した。上階にご利用者様を運ぶことが出来るのか？階段は上がれる のか？避難場所まで誘導できるか？連絡方法などを学習した。	河田
7月21日	認知症ケアについて	認知症の方の症状について学習した。認知症の方への接し方・家族への支援 コミュニケーションなど基本の原則を学習し、充分に理解し介護をしていく 事を学習した。	小西
8月18日	感染症や災害への対応力	感染症や災害に負けない強靱な社会を作る。感染症対策推進、災害からの復旧 復興・防災・県土強靱化、地域防災力と危機管理の強化を学習した。	田中
9月15日	人権研修ー権利擁護ー	すべての人権を尊重される社会を築く4つのバリアについて学習した。 物理的・制度的・文化的・情報面・意識上のバリアがあることを理解した。	吉村
10月20日	BCP業務改善計画について (LIFE)	LIFEを活用した介護施設・事業所におけるPDCAサイクルの推進を学習した。 目標を設定し達成に向けた計画を立てた。	長田
11月17日	接遇・マナーについて	介護における接遇(そもそも接遇とは?)を学習した。介護における・ 挨拶・言葉遣い・表情・態度・身だしなみを考え、チェックリストを 使って自分は出来ているか?を学習した。	井上
12月22日	身体拘束・虐待	虐待の行為について(身体的・性的・心理的・放置・放棄・経済的)などが あることを学習した。家族からの虐待を見つけたらすぐに報告するなど 連携をはかる。また身体拘束なども行っていないことを学習した。	小西
2025年 1月19日	感染症・食中毒事例検討	食中毒の原因はなにか?台所に潜む食中毒の危険・食中毒の予防原則を 学習した。手洗い・うがいをしっかり行うことを意識付けを行った。	吉村
2月17日	倫理・法令順守について	倫理、職業倫理に反する言動、行為はしてはいけないことを学習した。 人権を守ることが倫理観や職業倫理の意識を高めることにつながる事や 内容を纏めた。	田中
3月15日	非常時の訓練(防犯・消防)	認知症利用者の避難訓練を、出来るだけ分かり易い短い言葉選び をし、コロナウイルス禍の避難訓練は密を避けるということの周知徹底。	河田

令和6年度のイベント

日	場所	利用者 参加人数	前年度 参加人数	担当	状況報告
4月6日	花見 ちよっとだけ	10名	12名	河田	3月末の花見ではほぼ咲いてなかったため、もう一度散歩を兼ねて、全員で近くの公園まで花見散策をした。満開の桜を見て嬉しそうな表情をしておられた。 目的・趣旨：桜を見に行くことで季節を感じて頂き外を歩く事で認知症状緩和の為に企画した。
4月25日	芥川鯉のぼり 見学	12名	12名	吉村	快晴だったため、優雅に泳いでる鯉のぼりを堪能しました。「うわあ～すごい数だね」と喜ばれておられた。止まることが出来なかったので車窓より見学しました。 目的・趣旨：昨年からの企画でいっぱい鯉のぼりと季節感を感じて頂くために企画した。
5月10日	母の日会	12名	12名	長田	日頃から母のように優しく、温かい皆様に感謝を込めて花と写真撮影会をしました。昨年と同様12名のご利用者様の参加となりました。 目的・趣旨：子供たちが成長して、母に感謝を伝える感謝の日として企画した。
5月16日	バラの会 若園公園	12名	12名	小西	バラ公園を散策して、いい香りと素敵な花をみて「普段は連れてきてもらえないから嬉しいわ」と言われておられる方が多かった。 目的・趣旨：認知症予防として、バラを鑑賞することで季節を感じて頂き、仲間と協力して現場に行くことを企画をした。
6月15日	父の日	12名	11名	吉村	日頃の感謝を込めて手作りケーキを作って喜んで頂きました。女性の方の方が多くいらっしゃいますので夫様・お父様のお話もされて盛り上がり頂いた。 目的・趣旨：活躍されていた頃を回想していただき日頃の感謝を込めて企画・開催した。
7月5日	七夕祭り	12名	12名	井上	短冊に願い事をかいて、笹の葉に飾りつけを行った。今年は願い事が書ける方が減ってしまった為職員が聞きながら代筆して回った。 目的・趣旨：考えて書くことがいいことだが認知症状によって難しくなっている方が多く見られたので職員と一緒に願い事を考える企画とした。
7月24日	土用丑の日会	12名	12名	吉村	暑い夏を乗り切って頂くために鰻が好きな方は鰻井苦手な方は鶏の照り焼き井を提供した。 目的・趣旨：暑い夏を乗り切り、元気に未来に来て頂けるよう企画した。

7月30日	かき氷・わらび餅会	11名	12名	田中	手作りかき氷の上にわらび餅をのせて、暑い夏を乗り切れるように企画した。 目的・趣旨：かき氷などを食べることで季節感を感じていただき、認知症進行の防止などを目指した。
8月3日	ひまわり会	11名	12名	吉村	ヒマワリをイメージして元気に体操やゲームを開催した。ビンゴ大会はリーチ、ビンゴを本人様に言っていた。 目的・趣旨：ビンゴ大会をして数字合わせなどのゲームをしていただき、認知症進行の防止などを目指した。
8月24日	未来の輪 (和) お祭り	12名	12名	長田	盆踊りの曲に合わせて踊ったり歌ったりして過ごした。お昼からは屋台やゲームなどをし、ご利用者様に喜んでもらう。法被を着て皆さんで写真を撮った。 目的・趣旨：夏の季節感を味わってもらえるように企画をした。夏祭りの雰囲気を体感してもらった。
9月6日	さつまいも会	12名	12名	井上	未来の畑でとれたじゃが芋とさつまいもを皆様に掘ってもらった。真っ黒になった手をみて懐かしさを感じてもらった。お昼ご飯のおかずとして提供した。 目的・趣旨：ご自分たちで作った野菜を収穫することで達成感が生まれ季節感を味わって頂くための企画としました。
9月16日	敬老会	12名	12名	河田	日頃の感謝を込めてお祝いした。感謝を込めて手作りカードとお菓子のプレゼントをした。松花堂弁当もとても喜んでもらった。 目的・趣旨：私達の日頃の感謝の気持ちと今後の健康を願い企画しました。
10月1日	畑 収穫祭	12名	12名	長田	未来の畑でとれたナスを収穫した。さつまいもも採れたので芋ご飯を作って食べて頂きました。暑さでなすびは小さい物も多かった。 目的・趣旨：ご自分たちで作った野菜を収穫することで畑を見たり、収穫の喜びも味わって頂くための企画とした。
10月11日	大運動会	12名	12名	吉村	玉入れや借り物競争等をして運動会気分を味わってもらった。皆様も大きな声で応援したりハッスルしておられた。 目的・趣旨：運動会を実施し体を動かして楽しんで頂けるように企画し開催した。
10月29日	ハロウィン会	12名	—	長田	コスプレをしたり、ハロウィンの飾りで写真撮影をしました。皆さん笑顔で写真におさまる。ビンゴ大会も盛り上がってくれた。 目的・趣旨：あまり、ご利用者様は知らない様子でしたが今の時代の事などもお話ししたりして興味を持っていた。
11月7日	いもの会	11名	12名	見市	第2弾の芋掘りでしたが 今年あまり大きいものとれなかったので皆さん残念そうだった。畑に詳しいご利用者様が指導し盛り上がった。 目的・趣旨：秋の味覚を感じていただくことで、季節感を感じていただき、認知症状の緩和につなげるための企画。

11月20日	もみじ狩り	12名	12名	井上	寒い気候になりましたが、綺麗な紅葉にうっとりな時間が流れました。ひざ掛けや上着を用意し、温かいお茶を飲んでいただきました。 目的・趣旨：認知症予防として、秋の季節感を感じて頂くために企画、開催した。
12月3日	石狩鍋パーティー	12名	—	長田	温かい一日でしたが 鍋が始めると「暑い、暑い」と言われておられました。鍋を囲む時間がいい時間となり皆様とっても喜ばれておられました。 目的・趣旨：温かい食べ物を囲って 家族同様楽しい時間を未来で過ごして頂けるよう企画、開催した。
12月22日	クリスマス会	12名	12名	田中	大きなイベントの為、職員会議などで進行状況の確認を行った。クリスマスツリーの飾りつけを行った。朝からクリスマスソングを歌ったり職員の手作りケーキを食べて過ごした。 目的・趣旨：クリスマスの雰囲気や年末を感じ、又、回想法も取り入れた認知症の進行防止の為実施。
2025年 1月6日	ハッピー ニューイヤー 会	12名	12名	見市	新年をお祝いして、書初めをした。 お昼からは職員手作りの福笑いをつくり全員で福笑いをした。初笑いで楽しく過ごした。 目的・趣旨：新年の雰囲気を感じて頂き、又「福笑い」などでの回想法での認知症進行の防止の為実施。
1月11日	鏡開き会	12名	12名	田中	無業息災を願い、ぜんざいを作って皆さんでいただきました。今年も元気に来ていただけるようお約束をしました。 目的・趣旨：昔ながらの雰囲気を感じて頂き、おぜんざいを召し上がって頂き、無病息災を願った企画とした。
1月22日	疣水神社参拝 初詣の会	12名	12名	吉村	お賽銭をもって神社に初詣にいった。本当に長く手を合わせてくれるご利用者様も多かった。境内に入る階段は転倒しないように気をつけた。 目的・趣旨：外に出向きお詣りをする事で外の空気にふれ歩行することで認知症状の緩和に繋がるための企画。
2月3日	節分会	12名	12名	見市	スタッフが鬼に扮しお手玉を投げて鬼退治をした。 「鬼は外、福は内」と大きな声を出しておられた。 目的・趣旨：行事に参加し季節感を感じて頂くための企画。
2月14日	バレンタイン デー (ビンゴ)	12名	12名	河田	チョコレートを食べて ビンゴ大会をして過ごした。 昔はバレンタインデーなんてなかった。手をつなぐのも恥ずかしかったと言われてた。 目的・趣旨：バレンタインデーの企画をすることで回想法をとり入れて認知症緩和の為の企画。

3月3日	ひなまつり会	12名	12名	井上	男性職員がお内裏様でご利用者様がお雛様になり 写真を撮った。パネルを作って顔を出した。 目的・趣旨：ひなまつりの雰囲気を感じて頂く為、 また、子育ての頃を回想して頂く為の企画。
3月20日	春まで 待てない会	12名	12名	長田	昨年はこのころになると満開でしたが 今年はまだまだ咲いてなかった為フロア内の企画に 変更し、ビンゴゲームをおこなった。 目的・趣旨：春の季節感を感じて頂き、フロア内での ビンゴゲーム大会の企画に変更した。

☆今年の企画もほぼ定員いっぱいのご利用者様の利用となった。

皆様に喜んで頂くためにイベントは継続し行った。季節感を感じて頂けるような企画を提供した。

〈事務所〉

○職員 【入 職】

・ 庄栄エルダーセンター	1 2名
・ 高槻エルダーセンター	3名
・ 障害福祉サービス	1 1名

【退 職】

・ 庄栄エルダーセンター	2 5名
・ 高槻エルダーセンター	5名
・ 障害福祉サービス	1 1名

【休 職】

・ 庄栄エルダーセンター	産前産後休業	1名
--------------	--------	----

【復 職】

・ 庄栄エルダーセンター	1名
・ 障害福祉サービス	1名

○戦略会議	令和5年度 決算期	令和6年4月19日
	令和6年度 第1四半期	令和6年7月19日
	令和6年度 第2四半期	令和6年10月18日
	令和6年度 第3四半期	令和7年1月17日

○感謝のタベ 6月15日 庄栄エルダーセンターにて開催 総勢150名

○人事評価会議 6月10日 6月25日
11月15日 11月20日

○職員確保計画 来期に向かつての職員採用の計画

- ・ 専門学校・短大・高校の求人訪問と実習先の依頼
- ・ ホームページによる求人
- ・ ハローワークによる求人
- ・ 全国の高校生に向けた求人サイトへの掲載
- ・ 実習生に対しての意向調査
- ・ 定着率を上げるための現職員への面談（ストレスケア）

○7月16・18日 定期健康診断に加えストレスチェック制度実施

○介護職員の処遇改善について、従来の処遇改善に代わり処遇改善加算・特定処遇加算ベースアップ加算等一本化され「介護職員等処遇改善」として柔軟に配分